

学校だより

茅野市立
東部中学校



信頼を築く 学校

令和4年度 No.12 文責 演
発行日 12月26日(月)

二学期終了

本日二学期の終業式が行われ、一年で一番長い学期である 86 日間の二学期が終了しました。以前の学校だよりで紹介したハケ嶺祭をはじめ、この二学期も生徒のみなさんの素敵な学びやがんばりの姿が多くありました。ハケ嶺祭以降のものについていくつかを紹介します。

- 生徒会が「ハケ嶺祭で使用した花を地域の方にも届けたい」との発想をし、それを具体的な形として、学区の保育園に届け、飾っていただきました。生徒自ら主体的に考え、具体的に行動してくれたことを大変頼もしく感じました。



また、コロナの影響でここ3年行えていない、生徒が地域に出てあいさつを行う「あいさつ活動」を、今年こそはぜひ行って地域の方をはじめ、小学生や保育園児とあいさつを通して繋がりを作りたいと計画を進めていましたが、11月末がコロナの感染状況がよくなり、またもや断念せざるを得ませんでした。しかし、そこで終わりにするのではなく、もっと足下の自分たちのあいさつを見直そうという



ことで、学校昇降口でのあいさつ活動に切り替えて行いました。この様に発想の転換をしなにかやり遂げようという姿は、まさに「主体的」だと感じました。

- 10/5 に玉川、泉野、豊平の各地域の皆様によるあいさつ運動を行っていただきました。あいにくの雨模様ではありましたが、明るく、温かく生徒に声を掛けてくださり、生徒にとって、地域の方との繋がりを具体的に感じることのできる大切な機会となりました。
- 10/14 には「全校リレー大会」を行いました。今年度より、「障害物競走」の要素を取り入れた種目構成を生徒会で提案、企画をし、これまでとは異なる「リレー」となりました。学年毎に行ったのですが、どのクラスも精一杯に走り、応援し、順位を超えた充実感を味わうことができました。



- 11/2 には3年ぶりに保護者の方にもご参観いただける形で音楽会を開催しました。生徒は、この日のために様々な苦勞を乗り越え、努力を重ね、クラス、学年の仲間と心を一つにした合唱を披露しました。素晴らしい歌声でした。中でも3年生の合唱は、「さすが3年生！」と誰もが納得する、素晴らしい演奏となり



ました。保護者の皆様には、制限つきではありましたが、ご来校いただき、生徒の精一杯の姿をご覧いただきました。ありがとうございました。

- 部活動では、コロナへの対策をしっかりと行いながら、新人戦がなんとか予定通りに全ての日程を終えました。コロナに関わっては、まだまだ配慮しなくてはならない状況が続いていますが、その様な中で、3年生から引き継いだ部活動で1、2年生の部員では精一杯にここまでやってきたことをそれぞれに出し切れたかと思えます。



また、表彰という面では、陸上競技部の

男子駅伝チームが南信予選を勝ち抜き、県大会に参加をし、堂々の3位入賞、メダル獲得となり、北信越大会にも駒を進め、10位という結果を得ました。技術部は「ロボットコンテスト」南信大会において好成績を残し、また、県大会では3位入賞という素晴らしい結果を得ました。



また、3年生の矢島史悠くんが、ハンドボールの長野県選抜チームの一員として、今、徳島県で行われている、全国大会に出場をしています。健闘を祈ります。ハンドボールの長野県選抜チームが北信越大会を勝ち抜き全国大会に出場するのは、22年ぶりだそうです。

- 学校外部の方からの学びの機会を大切にするという面で、東部中学校コミュニティスクールの活動の一環として諏訪中央病院の武居先生をお招きして「思春期」についてご講演いただきました。また、人権教育講演会として、息子さんを事件でなくされるという言葉にできない辛いご経験をされた講師の先生にご来校いただき、命の大切さについてご講演をいただきました。



- 11/28は、「手作り弁当の日」でした。食と自分との関わりや自分の生活や将来についての考えを深めていくこと等もねらいとして毎年行っております。保護者様には、ご負担をお掛けしてしまっている面がありますが、ご協力をいただいておりますことに感謝申し上げます。今年も、生徒それぞれに体験を通して考えること、学べたことが多くありました。

○ 今年も、地域の高齢者の方々にお届けする「おせち料理配食事業」への協力をさせていただきました。ボランティア委員会が全校に呼びかけおせち料理に添える200通を超える手紙「ぬくもりレター」を生徒が書きました。また、おせち料理の掛け紙は美術部の生徒が何種類も描いてくれました。また、手紙の封筒に花を添える消しゴムスタンプを家庭科部の生徒が制作してくれました。市社会福祉協議会の方やボランティアの方がご来校くださり、学校で手紙等の受け渡し式を行わせていただきました。このような地域福祉の活動に関わらせていただけることは大変ありがたいことです。早速おせち料理を受け取られた地域の方から生徒にお礼の手紙が届くなど、温かい思いを受け取れる活動をさせていただいていることに感謝です。



- 本校で読み聞かせボランティアを行ってくださっている「でいらぼっち」の方々の読み聞かせが12月をもって、今年度の活動が終わりとなりました。コロナの感染状況によって、開催できない月もありましたが、一昨年度、昨年度よりは、読み聞かせを行っていただける機会が多くありました。この12月の読み聞かせの際は、3年生のクラスに入ってくださいましたボランティ



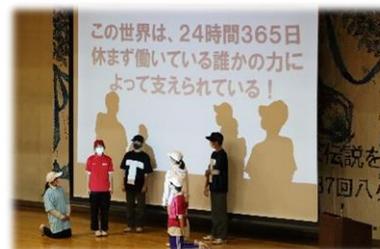
アさんが、「高校では読み聞かせの機会はあまりないから、もしかしたらこれが一生で最後の読み聞かせになるかもしれないと思って本を選んできました」とおっしゃってくださり、本当に生徒に寄り添いながら読み聞かせをさせていただいていることに感謝ばかりです。

- 「開拓の時間(総合的な学習の時間)」については、「自分は誰かのためにいったい何ができるのだろうか」



という大きなテーマの下、各学年でそれぞれにテーマを決め、学習を進めてきました。12/19に「『開拓の時間』学習発表会」を開催し、それぞれの学年のこれまでの学びについて発表をしました。どの学年も課題解決を大切に、探究的に学習を進め、学習を深めて来た様子を全校で共有することができました。

総合的な学習に関わり、3年生が地域との連携で進めた学習の様子が新聞で報道をされ、それを目にした茅野市議会の方が「中学生の意見や考えを聞きたい」との連絡をくださり、本校生徒と市議会議員の方と懇談をする機会が得られるということもありました。今回の経験が未来を生き抜く力につながっていくと確信できる姿でした。



- 12/19に「第2回学校評議員会・学校運営委員会」を開催しました。上記の「開拓の時間」の発表会も参観をしていただき、その後懇談をさせていただきました。生徒の姿にお褒めの言葉をいただくと共に、学校運営に関わり、ご意見、ご助言をいただきました。改めて地域の皆様に支えていただいていることを確認する場となり、今後の学校運営にとって大変有意義な時間となりました。



- ここまで全校をリードしてきた浅川会長を中心とする生徒会役員、3学年のみなさんから、いよいよ2学年へと襷を渡す時期となりました。2学年の各クラスからそれぞれ立候補者が出て、教室訪問を行い、全校立ち会い演説会、投票を経て、新年度の生徒会三役が決まり、12/22の生徒総会では、新生徒会役員も発表されました。岡村会長、下川男子副会長、



西澤女子副会長を中心とした新生徒会役員、2学年のみなさんが、どのようにこれから東部中学校をリードしていただけるのか、大変楽しみです。

◎ 二学期後半の全てについては、もちろん紹介しきれません。かいつまんでの紹介になってしまい、すみません。この様な行事等はもちろん、何でもないように思える、毎日の生活の中でみなさんは様々な場面や出来事、活動等を通して多くの学びを積み重ね、この二学期を過ごしてきましたね。ここまでの自分を振り返り、また新年にむけての目標を確かなものにして、三学期のスタートを切ってほしいと願っています。

二学期終業式 校長講話 (要旨)

今日で86日間の二学期が終了します。この二学期、みなさんの様々な素敵な姿を見せてもらいました。授業で意欲的に取り組む姿、総合的な学習で様々な地域の人・こと・ものにつながる姿、自分たちや学校、地域のために一生懸命活動した生徒会活動、仲間と協力し、クラス、学年で心をつなげたハケ嶺祭や音楽会などの行事、目標に向かって努力を積み重ねた部活動、毎日毎日のさわやかなあいさつ、給食や清掃

への取り組み、そして、目の前にある自分の課題に対し、なかなか思うようにはいかなくても、コツコツ、少しずつ少しずつ前進しようと取り組む姿、どれも本当に素敵な姿でした。

今年度の本校の重点は「Think and Act 何事にも主体的に考動」でした。今振り返って、この二学期みなさんはこの重点についてどのくらい達成できたと感じていますか。こんな言葉があります。「やれなかった やらなかった どっちかな」これは、相田みつをさんという方の言葉です。本校の重点である「主体的」ということについて振り返るとき、大切な視点を示してくれています。たった一文字の違いですが、その意味は、だいぶ違います。ぜひ、自分の姿を振り返り、次に繋げていきましょう。

三学期は、一年間の締めくくりをするとともに、それぞれの学年が次へと向かうための大切な学期となります。一年生は「先輩」に、二年生は「最高学年」に、三年生は「進路決定」「卒業」に向かって、それぞれ進みます。そのためにも、この冬休み、新型コロナやインフルエンザ等に十分注意することを始め、健康第一、安全第一で過ごし、2022年の締めくくりをし、主体的な2023年の始まりをつくってください。そしてもう一つ、冬休みは家で過ごす時間も多いかと思います。お手伝いをたくさんしてください。

それでは、三学期始業式に、みなさんの元気な顔に会えることを楽しみにしています。二学期、お疲れさまでした。よい年をお迎えください。

保護者の皆様へ

保護者の皆様、二学期も本校の教育活動に対しまして、深いご理解と多大なるご協力、ご支援をいただきましたこと、誠にありがとうございました。また、いまだに続く「新型コロナウイルス」への対応につきましても、ご理解とご協力をいただいておりますこと、感謝申し上げます。

明日から年末年始休業となります。この休みは、「一年の締めくくり、一年の始まり」という大きな節目のお休みです。それぞれのご家庭に、それぞれの計画等もおありかと思えます。生徒ができるだけ積極的に家のこと、地域のことにも取り組みますよう、ご指導、お見守りをいただければと存じます。生徒にとりまして、有意義な休みになりますよう、よろしくお願い申し上げます。

お願いで申し訳ございませんが、以下の点ご理解の上、ご協力お願いいたします。

- **12/29(木)～1/3(水)は、学校閉庁日**となります。学校閉庁日は学校に職員が原則不在となります。緊急時の連絡につきましては市役所(72-2101)に連絡をお願いいたします。
- ただし、**新型コロナウイルス感染症「陽性」の連絡につきましては**、これまで土曜日、日曜日等の休日につきましては市役所への連絡をお願いして参りましたが、上記**学校閉庁日につきましても、「リーバ」に書き込みをしていただくこととし、市役所への連絡は不要となります。**リーバの確認を学校職員が行い、必要に応じてご家庭に連絡をさせていただきます。なお、毎日の健康観察につきましては、これまで同様にリーバへの書き込みをお願いいたします。

学校周辺でも積雪が見られるようになり、霜が降りたり、道路の凍結が見られたりと冬の本格的な到来を感じるようになりました。加えて、新型コロナウイルス感染症、インフルエンザの広がりも報道等で話題となっております。その様な状況ではありますが、保護者様、ご家族様におかれましては、お体ご自愛の上、よいお年をお迎えになられますよう、祈念いたします。

本年賜りましたご理解、ご協力に感謝申し上げますと共に、新年も変わらぬご支援をいただけますよう、お願い申し上げます。ありがとうございました。

学校に関わることで何かございましたら、お気軽に学校までご連絡をお願いします。また、生徒の健康に関すること、スクールソーシャルワーカー(SSW)、スクールカウンセラー(SC)への相談等のご希望につきましても、学校までご連絡をお願いします。また、「育ちあいちの」へ相談は随時行えます。ぜひ、ご利用ください。

茅野市立東部中学校
濱 喜一郎(校長)
〒391-0011 茅野市玉川 10030
電話 79-5050 Fax 79-5242